

講義名	卒業研究
講義コード	54049
担当教員	高室 裕史
開講期・曜日・時限	通年 金曜日 4時限
備考	

ゼミ
学部ゼミ
学部
商学部
学科
経営、マーケティング
演習名
高室裕史ゼミナール（流通・マーケティング論）

<p>概要説明</p> <p>このゼミのテーマは、「マーケティング・マネジメント」です。 「マーケティング」とは、新たな価値と生活者の満足を生み出していく活動です。 そして、そのマーケティングを、企業や組織が目指す目標へと方向付け、実現させていく行動のことを「マーケティング・マネジメント」といいます。</p> <p>私たちの身の回りには、例えば、スマートフォンや家電製品、あるいは、様々な飲料やサービスなど、便利な商品が溢れています。普段、私たちは、それらを何気なく買ったり、使ったりしています。しかし、実は、その背景には、これまでなかったような価値を生み出したり、私たちにさらに満足してもらおうと工夫や努力を重ねたり、といった、企業や組織の「マーケティング・マネジメント」の取り組みが隠れています。</p> <p>こうした「マーケティング・マネジメント」の考え方やセンスを身につけるべく、研究演習（2年次）ではケース・スタディ、研究演習（3年次）にはグループ研究及びアクティブ・ラーニング企画に取り組んできました。</p> <p>卒業研究（4年次）では、3年次までの研究や体験をベースとしつつ、卒業論文を作成します。大学4年間の学習・研究の集大成を目指して、みんなでがんばっていきましょう。</p>
--

学位
博士（商学）神戸大学

<p>教員よりの要望</p> <p>ゼミの主役は皆さんです。ゼミの進行の中心は皆さんからの報告と議論です。卒業論文の作成そのものは個人の取り組みとなりますが、みんなの前で自分の考えを報告し、みんなで問題を共有し、そして、みんなで議論を行いながら、それぞれの卒業論文をより充実したものにしていきたいと思います。各自が、自身の4年間の集大成となる成果を真摯に追求するとともに、議論をはじめとした「ゼミづくり」に積極的に参加することを期待します。</p>

教員英字氏名
Takamuro Hiroshi

研究室
研究棟 204研究室
最終学歴
神戸大学大学院経営学研究科

<p>主な研究活動・社会活動・研究業績</p> <p>私自身の研究としては、最近は、主に下記のようなテーマに取り組んでいます。 (1) サービスを中心としたマーケティングやマネジメントに関する研究 (2) 商業まちづくりと流通政策に関する研究 (3) 医療サービスと患者満足に関する研究</p>

<p>主な卒業論文のタイトル</p> <p>「日本の消費を活性化するためにはどうすればよいのか」 「『ひこにゃん』と『くまもん』を通して、ゆるキャラブームの秘密を探る」 「日本でコンビニが成功した本当の理由-セブンイレブン・ジャパンの事例を通して-」 「P B 頼みの小売業-積極的 P B 展開は不況を乗り切る戦略となるか-」 「アウトレットモールが人気な理由に迫る-日本とアメリカのアウトレットモールの事例を通して-」 「世界で8割のシェアを得る方法-シマノの自転車部品事業を通してシェア獲得の方策を知る-」 「不要論から見る商社・問屋の今後」 「Jリーグのクラブが地域にもたらすもの」 「ケールジャパンを幻想にしないために-イギリス、韓国から国家ブランド戦略を知る-」 「世界遺産は地域貢献をもたらすのか」 「生き残りかけた家電量販店の差別化戦略」 「お菓子の誕生、ヒットの歴史」 「ヒップホップ化する社会-始まりと現在-」</p>
--

<p>趣味・特技</p> <p>高校までは剣道部、大学では競技スキー部と、学生時代はいわゆる体育会系の部活動を中心にごしてきました。また、部活動以外にも、中学の頃には暇があれば釣りに出かけたり、高校の頃にはギターに熱中してバンド活動も行ったりと、とにかく面白そうなことには飛びついているいるなことをやってきました。 今の趣味と言えば、今度は聴く方ですが音楽です。また、買い物や旅行が好きで、少し時間ができたときには、よく出かけています。</p>
--

所属

所属学会
日本商業学会 組織学会

専門分野
マーケティング論、サービス・マーケティング論、流通論

<p>選考方法</p> <p>研究演習 からの継続によります。</p>
--

担当科目

備考

<p>評価方法</p> <p>卒業論文、及び出席状況、報告の履行状況、議論への貢献度、その他課題の履行状況により、総合的に評価します。</p>
--